

展示リニューアルした旬な3施設をプチガイド

特集

博物館へ行こう!

ときめき満載!

暑い夏は、過ごしやすい博物館の展示室で、じっくり歴史のお宝探しを楽しむのがオススメ。今年、展示内容をリニューアルした、ときめき満載の旬な施設3つを紹介します。



県内各地の出土品を収蔵する“お宝のデパート”

鳥取県埋蔵文化財センター

●とっとりけんまいぞうぶんかざいせんたー



県内の遺跡の発掘調査や出土品の整理も行っているため、県内各地の重要な遺物が多数集積。展示室やエントランスホールでは、その中でも選りすぐりの逸品を目にすることができ、この春の展示替えでさらに充実度がアップしました。事前に申し込みば専門職員によるガイドも受けられます。

■センターに到着!



さあ、みんなで先祖様が暮らした大昔へタイムスリップ開始だ!



☎0857-27-6711

所 鳥取市国府町宮下1260

開 9:00~17:00

(土曜・日曜・祝日は閉館)

休 毎週土曜・日曜、祝日、年末年始

料 無料 P 40台

■エントランスホールの展示も充実



この先を右に曲がると、いよいよ展示室だぞ!

■今春リニューアルされた展示室へ!



旧石器時代から中世まで、貴重な出土品がずらり勢揃いだね。縄文人が乗っていた舟もすごい迫力!

■土器パズルコーナー



だれが一番早く完成できるか競争だ。めざせ、ドラゴン級!

必見アイテム

青谷横木遺跡出土丸木舟

●あおやよこぎいせきしゅつどまるきぶね
縄文時代後期~晩期(約4,500~3,000年前)の地層から出土。杉の木で作られており、舟の全長は6m 26cm、最大幅は68cm。



「地下の弥生博物館」のエッセンスがここに

青谷上寺地遺跡展示館

●あおやかみじちいせきてんじかん

出土品の多彩さと保存状態の良さから「地下の弥生博物館」とも呼ばれる青谷上寺地遺跡のほど近くに立地し、学術的に価値の高い遺物の数々を展示。今年2月には、弥生時代の人々の息吹をさらにリアルに伝える展示内容へとリニューアルされました。



☎0857-85-0841

所 鳥取市青谷町青谷4064

開 9:00~17:00 (入館16:30まで)

休 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日の平日)、祝日の翌日 (その日が平日の場合)、年末年始など

料 無料 P 50台 (他施設と共用)

施設は遺跡の近くに

この中に弥生の世界が広がっているかと思うとワクワクするね!



展示室には多彩な遺物が



必見アイテム

青谷上寺地遺跡出土絵画土器

●あおやかみじちいせきしゅつどかいがどき

弥生時代中期 (紀元前1世紀頃) に製作された土器。表面には、前後2つの背びれ・胸びれ・尾びれを持つサメらしき生き物がシャープなタッチで描かれている。

精巧に作られた様々な用具から傷ついた人骨まで多種多様だね。土器に描かれた絵も暮らしぶりが想像できて面白い!



奈良時代の特集展示がスタート!

倉吉博物館

●くらよしはくぶつかん

博物館の外観も美しい!

公園の中にあるから、散策を楽しんだ後に立ち寄るのもいいね!



市民の憩いの場である打吹公園内にある。常設展示の歴史コーナーでは県中部の貴重な考古資料を紹介。山上憶良が伯耆国守に赴任して1300年となる今年、憶良が生きた奈良時代の伯耆国をテーマとした特集展示を行います。



☎0858-22-4409 所 倉吉市仲ノ町3445-8 開9:00~17:00 (入館16:30まで) 休 毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)・祝日の翌日・年末年始 料 一般210円 (特別展は別料金)・高校・大学生100円 P 観光駐車場利用

展示室はより親しみやすく



遺物を通して時代の移り変わりが分かるように整理されているんだね! 鬼瓦も怖いけど愛嬌があるね。

必見アイテム

大御堂廃寺跡出土鬼瓦

●おおみどうはいじあとしゅつどおにがわら

倉吉市駄経寺町の大御堂廃寺跡で見つかった奈良時代の鬼瓦。大きく表された鬼面の下には踏ん張った状態の腕と脚がついており、一般的な鬼瓦とは様子が異なる。全身を表す鬼瓦は朝鮮半島に多く類例があり、日本では珍しい。

